



## 2025年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年12月13日

上場会社名 株式会社イタミアート 上場取引所 東  
コード番号 168A URL <https://www.itamiarts.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊丹 一晃  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 一ノ瀬 達也 TEL 086 (805) 4150  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年1月期第3四半期の業績 (2024年2月1日～2024年10月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第3四半期	2,799	16.5	232	22.8	208	△3.1	141	△5.0
2024年1月期第3四半期	2,402	—	189	—	215	—	148	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第3四半期	103.39	103.00
2024年1月期第3四半期	141.74	—

(注) 1. 2023年1月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年1月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2024年4月8日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2025年1月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2025年1月期第3四半期	3,778	1,180	421	—	31.3
2024年1月期	2,526	421	—	—	16.7

(参考) 自己資本 2025年1月期第3四半期 1,180百万円 2024年1月期 421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年1月期の業績予想 (2024年2月1日～2025年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,554	14.2	180	△6.2	165	△25.1	114	△25.2	82.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期3Q	1,470,000株	2024年1月期	1,050,000株
② 期末自己株式数	2025年1月期3Q	一株	2024年1月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期3Q	1,367,299株	2024年1月期3Q	1,050,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善、円安の進行に伴うインバウンド需要の継続などに支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、ウクライナ情勢等を背景にした原材料・エネルギー価格の高騰や、急速な為替の変動などに伴う物価高の影響から、国内消費者の消費マインドは低下傾向にあるなど、依然として経済の見通しは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、飲食店や小売店だけでなくイベント会場の装飾などの販促需要は、コロナ禍明けの高まりから減少することなく増加基調で推移いたしました。この販促需要の堅調な推移に加え、個人顧客が中心であるEC販売では新規顧客の獲得を意識した積極的なプロモーション活動やSEO対策などを行ったことで、主要サイトの流入数が増加したことや、選挙の特需が売上を下支えしました。また、主要取引先との提携商品の拡大に加え、EC販売と比べて1件当たりの売上規模が大きい既存法人顧客への営業活動を強化したことや、インサイドセールスによる新規法人顧客の開拓に注力したことも成果をあげ、大口案件の受注につなげることができました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,799,213千円（前年同期比16.5%増）、営業利益は232,420千円（前年同期比22.8%増）、経常利益は208,828千円（前年同期比3.1%減）、四半期純利益は141,369千円（前年同期比5.0%減）となりました。

なお、当社はSP商材の企画・制作・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

#### (売上高)

当第3四半期累計期間の売上高は2,799,213千円（前年同期比16.5%増）となりました。これは主に、積極的なプロモーション活動やSEO対策に加え、法人顧客への営業強化に注力したことなどによります。

#### (売上原価、売上総利益)

当第3四半期累計期間の売上原価は1,648,527千円（前年同期比13.7%増）となりました。これは主に、原材料費、人件費、減価償却費及び印刷機の消耗品費の計上によるものです。この結果、売上総利益は1,150,686千円（前年同期比20.7%増）となりました。

#### (販売費及び一般管理費、営業利益)

当第3四半期累計期間の販売費及び一般管理費は918,265千円（前年同期比20.2%増）となりました。これは主に、広告宣伝費、荷造運賃、人件費及び支払手数料の計上によるものです。この結果、営業利益は232,420千円（前年同期比22.8%増）となりました。

#### (営業外収益、営業外費用、経常利益)

当第3四半期累計期間の営業外収益は22,323千円（前年同期比40.2%減）となりました。これは主に、受取家賃及び補助金収入の計上によるものです。また、当第3四半期累計期間の営業外費用は45,915千円（前年同期比311.1%増）となりました。これは主に、上場関連費用及び株式交付費の計上によるものです。この結果、経常利益は208,828千円（前年同期比3.1%減）となりました。

#### (特別利益、特別損失、法人税等合計、中間純利益)

当第3四半期累計期間の特別利益及び特別損失はありません（前年同期は特別利益2,560千円の計上）。当第3四半期累計期間の法人税等合計は67,459千円（前年同期比2.5%減）となりました。これらの結果を受け、当第3四半期累計期間の四半期純利益は141,369千円（前年同期比5.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて1,251,216千円増加し3,778,060千円となりました。流動資産は、前事業年度末と比べて534,806千円増加し1,432,591千円、固定資産は、前事業年度末と比べて716,410千円増加し2,345,468千円となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が360,615千円、受取手形及び売掛金が156,956千円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、七日市工場の増設により建物が553,542千円、機械設備の増設等により建設仮勘定が184,907千円それぞれ増加したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて491,607千円増加し2,597,362千円となりました。流動負債は、前事業年度末と比べて9,896千円増加し820,476千円、固定負債は、前事業年度末と比べて481,710千円増

加し1,776,886千円となりました。

流動負債の主な増加要因は、買掛金が20,451千円、1年内返済予定の長期借入金が77,526千円、その他流動負債が23,538千円それぞれ増加した一方、1年内償還予定の社債が100,000千円減少したことによるものです。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が481,147千円増加したことによるものです。長期借入金の増加は、七日市工場増設等の設備投資のため、2023年10月の取締役会決議に基づき借入を実行したものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べて759,609千円増加し1,180,697千円となりました。主な要因は、株式発行による資本金309,120千円、資本剰余金309,120千円の増加、利益剰余金が四半期純利益の計上により141,369千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の業績予想につきましては、第3四半期会計期間は計画をやや上回る水準で推移したものの、第4四半期会計期間の利益額が他の四半期会計期間に比べて少額であることや、投資計画の一部ずれ込みなどの要因を個別に検討した結果、現時点で2024年9月13日発表の業績予想からの変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	449,001	809,616
受取手形及び売掛金	238,670	395,627
電子記録債権	4,251	3,859
商品及び製品	25,173	20,700
仕掛品	27,572	19,976
原材料及び貯蔵品	77,686	78,737
その他	75,430	104,074
流動資産合計	897,785	1,432,591
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	644,746	1,198,289
機械及び装置（純額）	386,280	349,788
土地	424,740	446,473
建設仮勘定	18,598	203,505
その他（純額）	52,688	55,439
有形固定資産合計	1,527,054	2,253,495
無形固定資産	25,108	19,203
投資その他の資産	76,895	72,768
固定資産合計	1,629,058	2,345,468
資産合計	2,526,843	3,778,060
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	73,900	94,352
1年内償還予定の社債	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	333,354	410,880
未払法人税等	61,301	38,554
賞与引当金	20,140	31,267
その他	221,883	245,422
流動負債合計	810,579	820,476
固定負債		
長期借入金	1,251,664	1,732,811
退職給付引当金	7,315	8,320
資産除去債務	20,534	29,995
その他	15,661	5,760
固定負債合計	1,295,175	1,776,886
負債合計	2,105,755	2,597,362
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,500	459,620
資本剰余金	52,500	361,620
利益剰余金	218,087	359,457
株主資本合計	421,087	1,180,697
純資産合計	421,087	1,180,697
負債純資産合計	2,526,843	3,778,060

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
売上高	2,402,736	2,799,213
売上原価	1,449,366	1,648,527
売上総利益	953,369	1,150,686
販売費及び一般管理費	764,077	918,265
営業利益	189,291	232,420
営業外収益		
受取家賃	12,620	12,373
売電収入	3,866	4,125
為替差益	18,708	—
補助金収入	1,485	4,910
その他	665	914
営業外収益合計	37,346	22,323
営業外費用		
支払利息	4,438	5,751
賃貸費用	2,638	2,622
売電費用	1,756	1,633
為替差損	—	753
補助金返還額	—	7,087
株式交付費	—	8,283
上場関連費用	2,000	17,160
その他	336	2,622
営業外費用合計	11,169	45,915
経常利益	215,468	208,828
特別利益		
投資有価証券売却益	2,560	—
特別利益合計	2,560	—
税引前四半期純利益	218,028	208,828
法人税、住民税及び事業税	82,178	77,093
法人税等調整額	△12,977	△9,634
法人税等合計	69,201	67,459
四半期純利益	148,827	141,369

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月8日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2024年4月5日を払込期日とする公募による新株式420,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ309,120千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が459,620千円、資本剰余金が361,620千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	124,373千円	126,325千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年10月31日）

当社はSP商材の企画・制作・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

当社はSP商材の企画・制作・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。